

中国農業の不振に追い打ちをかける新型コロナウイルス、豚コレラなどの厄災

中国に今押し寄せている厄災は指折り数えただけでも、新型コロナウイルス、アフリカ豚コレラ、鳥インフルエンザ、イナゴの襲来。まるで聖書に出てくる厄災をすべて集めたのではないかと思える凄さである。

焦点：中国から感染拡大、アフリカ豚コレラが世界の脅威に REUTERS 2020.1.20

<https://jp.reuters.com/article/china-swinefever-disease-idJPKBN1ZJ0AG>

中国湖南省で「H5N1」型の鳥インフルエンザ感染—ニワトリ殺処分

Bloomberg News 2020.2.3

<https://www.bloomberg.co.jp/news/articles/2020-02-02/Q53H2UDWLU6E01>

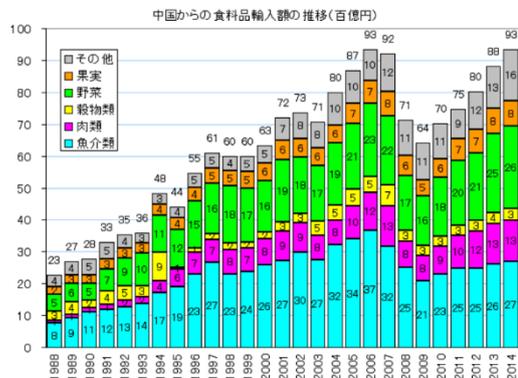
中国「イナゴ襲来」大飢饉ピンチ 新型コロナとのWショック

Excite News 2020.2.20

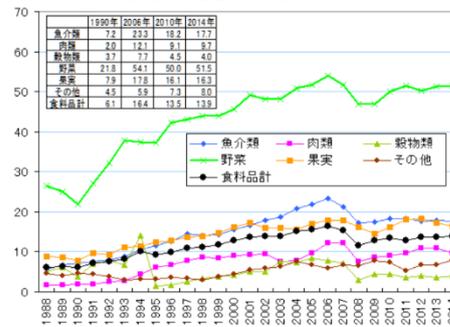
https://www.excite.co.jp/news/article/TokyoSports_1750713/

中国にWショック。同国武漢で発生した新型コロナウイルスは中国政府の19日発表で、死者2004人、感染者も計7万4185人に増加した。感染の恐怖が世界中を震撼させるなか、今度はイナゴ（バッタ）の大群が押し寄せて大飢饉をもたらすととの情報が飛び出している。仰天の3600億匹のイナゴが、アフリカ東部から中東、インドを経て、中国に侵入する可能性があるとして国連の専門機関が警告したのだ。襲われた地域は壊滅的被害を受け、数千万人が飢饉など大災害の犠牲になるというから、未曾有の天災になりかねない。

中国からの食料品輸入の動向 honkawa2.sakura.ne.jp/0298.html



輸入食料品に占める中国産のシェア(金額ベース、%)



(注) 飲料・たばこを含む食料品全体。冷凍品や調理、加工食品、冷凍食品も各品目に含まれる。
(資料) 財務省貿易統計

以上の厄災により中国農業が大きな痛手を受けることは確かだろう。すでに中国国内での豚肉価格は倍近くに跳ね上がり、その傍らで多くのニワトリが殺処分されている。中国より多くの食材を輸入している日本への影響は必至である。

その中国の食料自給率に関しては明確な情報が得られない。「中国が抱える意外な弱み『食料自給率の低下』 米国が本気で怒ると中国人の食生活に何が起きるのか JB Press 2017.8.21」なるニュースもある。

中国の人口が増加したために食料自給率が低下したというならば、その理由は明確であり、納得のいくものである。しかしながら、この自給率の低下が中国農業の衰退に依っているとすると問題は深刻である。中国農業衰退の理由を記した記事があった。

大豆自給率は 94%→13%に 中国農業衰退で世界に打撃！

週刊朝日 2018.2.27

世界の穀物生産量の 20%超を占める中国の農業が急速に衰退している。中国に依存してきた日本人の食卓にも影響が出ている。

中国の統計を見ると、野菜の生産量は 10 年の 6.5 億トンから 16 年に 7.7 億トンに増えている。ところが、食用・加工・輸出の合計は 4 億～5 億トンで生産量の 6 割程度にしかならない。残りの 4 割は畑で廃棄されたか、流通過程で腐敗したとみられる。輸出も加工もできない品質だったと思われる。

中国農業の衰退を象徴しているのが大豆だ。1993 年に 94%だった自給率が、2016 年にはわずか 13%に急落した。16 年の中国の輸入は 8400 万トン（日本のコメ生産量の約 10 倍）に達し、その後も増え続けている。

中国農業が不振に陥った要因
(週刊朝日 2018年3月2日号より)

中国農業が不振に陥った要因

- ①化学肥料と農業への依存が限界に…10㊦あたりの農業使用量は1.7㊦グラムで世界1位。米国の7倍にあたる=FAO。穀倉地帯である華南の16の省で土地の生産性が低下している=中国統計年鑑。
- ②農業就業者の高齢化と就業人口の減少…平均年齢は1992年の32歳から2010年の44歳に=人口センサスなど。16年の第1次産業就業人口はピーク時の91年より1億5千万人少ない2億1千万人。
- ③農地の重金属汚染…全国の農地の16%で、カドミウム、水銀、ヒ素、鉛、クロム、亜鉛、銅、ニッケルなどが基準値を超過=中国環境保護部等。
- ④水汚染と水不足…11～16年の間に総供給水量が67億立方㊦も減少し、地下水位が低下。内モンゴル呼包平原では10年6月の5.2㊦から、17年6月には8～50㊦に=中国水利部。
- ⑤農家の低所得…農業経営の規模拡大の効果が見られず、16年では非農家の所得が農家の2.7倍と、格差が埋まっていない=中国統計年鑑。4300万人にのぼる貧困層（年収4万円以下）の多くが前近代的農業の担い手だ。
- ⑥国が貸す農業用地の地代の上昇…都市近郊における17年の10㊦あたりの地代（年間）は3万5千～5万円で、10年前の数倍にのぼるところもある。

中国は農産物の輸出国から食糧の輸入国に。こうなると人口 14 億人が世界から食糧を買い占めることになる。次ページに 2000 年と 2016 年の世界の穀物「トウモロコシ」「大豆」「小麦」の流れを示した。中国が穀物の輸入国に変化していることがわかる。

※ 中国には建設バブルもあり、これがはじけると穀物輸入の原資に問題が生じる。

世界の食料需給の動向と中長期的な見通し 農林水産政策研究所 平成 31 年 3 月
 世界食料需給モデルによる 2028 年の世界食料需給の見通し

目次

1. 趣向編
 1. 世界の食糧及び大豆の需給動向 1
 2. とうもろこしの需給動向 2
 3. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 3
 4. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 4
 5. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 5
 6. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 6
 7. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 7
 8. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 8
 9. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 9
 10. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 10
 11. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 11
 12. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 12
 13. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 13
 14. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 14
 15. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 15
 16. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 16
 17. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 17
 18. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 18
 19. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 19
 20. とうもろこしの需給動向と貿易フローの動向 20

2. 見通し編
 1. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 21
 2. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 22
 3. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 23
 4. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 24
 5. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 25
 6. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 26
 7. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 27
 8. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 28
 9. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 29
 10. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 30
 11. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 31
 12. 世界食料需給モデルによる中長期的な見通し 32

